

今日のキーワード 「今年の漢字」の“金”は3回目！（日本）

「今年の漢字」は、公益財団法人日本漢字能力検定協会（以下、漢検）が全国から候補を募集し、応募数1位の漢字を毎年漢字の日（12月12日）に京都の清水寺で発表しています。1995年に始まって今年で22回目となり、社会、経済、政治などその年の世相を振り返る年末の風物詩になっています。直近では、2013年は“輪”、2014年は“税”、2015年は“安”でした。「今年の漢字」は、漢検の登録商標です。

ポイント1

「今年の漢字」は、2000年、2012年に続き“金”

リオ五輪の金メダル、政治と金の問題、スポーツ界の金字塔などが話題となった

- 今年是全国から153,562票の応募があり、6,655票を獲得した“金”が1位になりました。リオ五輪での“金”メダルラッシュで日本中が感動と興奮に包まれたと“金”を選んだ人が多かったようです。「今年の漢字」に“金”が選ばれたのは、シドニー五輪開催の2000年、ロンドン五輪開催の2012年に次いで3回目のことです。
- このほか、前東京都知事の政治資金問題や築地市場の豊洲移転問題など政治と“金”の問題の浮上、イチロー選手や伊調馨選手などスポーツ界の“金”字塔、PPAPが世界的に大ヒットしたピコ太郎さんの衣装が“金”色であることなどが、“金”が「今年の漢字」に選ばれた理由として挙げられました。

【今年の漢字】

ポイント2

2位は“選”、3位は“変”

米国大統領選や英国のEU離脱選択など

- 2位は、4,723票を獲得した“選”でした。今年、米大統領“選”挙、英国のEU離脱“選”択、東京都知事“選”挙、18歳“選”挙権の導入後初の国政“選”挙実施等、“選”挙に関する話題が続いた年でもありました。
- 3位は、4,619票を獲得した“変”でした。米大統領選でのトランプ氏当選など世界情勢の“変”化を背景とした株価の激しい“変”動、熊本・鳥取地震や東北・北海道での大雨などの天“変”地異なども今年の大きな出来事でした。“変”は2008年の「今年の漢字」でもありました。



(出所) 公益財団法人日本漢字能力検定協会の資料を基に三井住友アセットマネジメント作成

今後の展開

来年は、米国で新政権始動

- 「今年の漢字」は年末の景況感と一致すると見られます。2016年は明るいイメージの“金”が選ばれ、人々の心理や景気が明るいことを示していると思われます。来年は、米国のトランプ新政権の始動や英国のEU離脱通知が控えるほか、欧州主要各国で選挙が予定されるなど、海外政治や経済に大きな変化が起こるかもしれません。来年も、今年のように明るいイメージの漢字が人々の心に浮かぶ年となってほしいものです。

ここもチェック!

2016年12月12日 改善が続く「街角景気」(日本)
2016年12月 8日 技術の進歩が映る「ヒット商品番付」(日本)

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。